

保育園の自己評価について

1. 保育理念・保育観

年度初めに必ず保育理念、方針の話理事長から受け、当園の使命を理解し計画も立てている。しかし、年度を通して確認する機会が少ないので、職員会のたびに当園のパーパスを読むなり、確認する機会が重要だと思われる。

2. 保育計画・指導計画

ねらい及び内容が達成できるような課程や計画は立てているが、リーダーが中心で計画しているため、新人や経験年数の少ない職員には内容が浸透していないかもしれない。特に配慮の必要な子への一人一人への計画が立てられていることを知らない職員がいた。

3. 食育について

4年度に大幅な見直しをして保育と一層緊密な関係を持てるようにしたが、それが周知徹底されていない。給食会議も開いてはいたが、伝達で終わり充実していなかったため、献立の内容の検討をはじめ行事との連携についても意見を述べ合うなど活発な会議が開かれている。

4. 職員構成・役割分担・研修

職員構成・役割分担はうまくいっていたが、研修についてはまだコロナの影響があり、最近やっと始動し始めた感じである。

5. 保護者支援

項目の中でも高い数値が上がっている。これからも絶えず保護者支援に努めていく。5年度はコドモン・インスタグラムも始め、映像で保育の中身が保護者を始め色々な方に伝わるよう工夫している。

6. 子育て支援

コロナが少しずつ落ち着きピコクラブの活動も活発になってきた。ピコクラブのインスタグラムも各方面から見て頂いている。

7. 小学校や地域社会との連携

小学校とはボランティア活動など通してかなりつながっているが、コロナの為此数年は参加できずにいた。高齢者との交流についても同様である。